

吉田町監査委員告示第1号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第9項の規定により、監査の結果に関する報告を次のとおり公表する。

平成27年1月21日

吉田町監査委員 伊藤利勝

吉田町監査委員 大塚邦子

定期監査

1 監査の概要

(1) 監査の対象

〈監査対象等〉

監査対象	所管部署
ア 吉田中学校	教育委員会事務局
イ 自彊小学校	同上
ウ 中央小学校	同上
エ 住吉小学校	同上

(2) 監査の事項及び範囲

平成26年4月1日から平成26年9月30日までに執行された事務事業

(3) 監査の期間及び説明聴取場所

平成26年11月11日から平成26年12月25日

〈説明聴取年月日等〉

説明聴取年月日	監査の対象	説明聴取場所
平成26年11月18日	吉田中学校	学校会議室
同上	自彊小学校	同上
平成26年11月19日	中央小学校	学校会議室
同上	住吉小学校	同上

(4) 実施した監査手続き

監査にあたっては、財務に関する事務及び経営に係る事業の管理が法令に基づいて適正、かつ、効率的に執行されているかに主眼をおき、あらかじめ指定した監査資料及び掲示のあった関係書類及び関係帳簿を審査する

とともに校長及び関係職員から説明を聴取するほか、質問その他必要と認められた監査を実施した。

2 監査の結果

各学校についての監査結果は、後述のとおりである。

なお、軽微な事項についてはそれぞれ、口頭で注意・指導を行った。

- (注) 1 文中の金額のうち、千円単位で表示されているものは、単位未満は四捨五入とした。
- 2 比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までとした。

(1) 吉田中学校 【指摘あり】

① 平成26年度 学校経営等の計画について

ア 教育について

- (ア) グランドデザイン
- (イ) 学校教育目標と重点目標
- (ウ) 学校運営構想
- (エ) 吉中未来プロジェクト
- (オ) 年間教育計画

イ 学校安全指導について

- (ア) 学校安全指導
- (イ) 交通安全指導
- (ウ) 防災対策
- (エ) 学校保健統計

エ 地域との協力

- (ア) 吉田中学校健全育成会

なお、グランドデザインとは学校経営構想：その年度の学校における教育が目指す姿を端的に示したもので別紙のとおりである。

② 職員数は78人(うち、休職1人、育休6人)である。

- ③ 学級数・生徒数は次のとおりである。

学年	学級数	生徒数		
		男	女	合計
1	9	138	158	296
2	9	145	137	282
3	9	150	145	295
支援	6	7	3	10
合計	33	440	443	883

- ④ 予算執行状況（歳出）については、次のとおりである。

- ア 吉田中学校維持管理費（ただし、施設整備は除く）

執行額は 17,444 千円で執行率は 45.4% である。主なものは臨時職員賃金 1,349 千円、特定消耗品費 2,758 千円、教育材料費 781 千円、修繕料 2,129 千円、電気使用料 3,880 千円、水道使用料 422 千円、医薬材料費 627 千円、パソコン等保守点検・手数料 474 千円、自動車借上料 526 千円、複写機借上料 550 千円、備品購入費 1,922 千円である。

- イ 吉田中学校特別支援学級費（ただし、就学奨励費は除く）

執行額は 69 千円で執行率は 33.4% である。

- ⑤ 学校備品管理規程に則って備品管理が行なわれているかについて、簿冊の確認及び新規購入備品の実査を行なった。
- ⑥ 理科準備室における薬品（毒物・劇物）の管理について実地調査を行なった。薬品（毒物・劇物）は、準備室（理科）にある薬品庫に保管され、準備室（理科）及び薬品庫は施錠されていた。鍵は担当責任者が保管していた。薬品（毒物・劇物）が保管されていることが扉に明瞭に記されていた。また、医薬用外毒物及び劇物 使用管理簿により保管及び使用の状況が記録されていた。
- ⑦ 保健室における薬品管理について実地調査を行なった。
薬品は薬品管理簿により保管及び使用の状況が記録されていた。

監査の結果、次の指摘事項を除き、財務に関する事務及び経営に係る事業の管理について、おおむね適正に執行されている。

【指摘事項】

備品管理について

学校備品管理規程（昭和 38 年 8 月 16 日教委規程第 3 号）第 16 条に規定する必要簿冊と異なる簿冊を用いている事例がみられた。従って学校備品

管理規程に基づいて適正に備品管理が行なわれていたとは認め難い。今後については規程に基づく必要簿冊を用い、規程との整合性を図るべきである。

(2) 自彊小学校 【指摘あり】

① 平成 26 年度 学校経営等の計画について

ア 学校経営

- (ア) 教育課程構想図
- (イ) 学びづくり構想図
- (ウ) 学校経営構想
- (エ) グランドデザイン

イ 防災安全について

- (ア) 防災訓練計画
- (イ) 学校保健統計

ウ 地域との協力

なお、グランドデザインとは学校経営構想：その年度の学校における教育が目指す姿を端的に示したもので別紙のとおりである。

② 職員数は 35 人（うち、育休 1 人）である。

③ 学級数・児童数は次のとおりである。

学年	学級数	児童数		
		男	女	合計
1	3	47	32	79
2	2	34	34	68
3	2	34	26	60
4	2	36	22	58
5	2	24	31	55
6	2	36	31	67
支援	2	4	1	5
合計	15	215	177	392

④ 予算執行状況（歳出）については、次のとおりである。

ア 自彊小学校維持管理費（ただし、施設整備は除く）

執行額は 9,429 千円で執行率は 43.2% である。主なものは臨時職員賃金 1,408 千円、特定消耗品費 873 千円、修繕料 759 千円、電気使用料 1,285 千円、水道使用料 389 千円、浄化槽点検手数料 1,066 千円、パソ

コン等保守点検・手数料 430 千円、備品購入費 1,398 千円である。

イ 自彊小学校特別支援学級費(ただし、就学奨励費は除く)

執行額は 31 千円で執行率は 42.0%である。

- ⑤ 学校備品管理規程に則って備品管理が行なわれているかについて、簿冊の確認及び新規購入備品の実査を行なった。
- ⑥ 準備室(理科)における薬品(毒物・劇物)の管理について実地調査を行なった。薬品(毒物・劇物)は、準備室(理科)にある薬品庫に保管され、準備室(理科)及び薬品庫は施錠されていた。鍵は担当責任者が保管していた。薬品(毒物・劇物)が保管されていることが扉に明瞭に記されていた。また、薬品使用記録(簿)により保管及び使用の状況が記録されていた。
- ⑦ 保健室における薬品管理について実地調査を行なった。
薬品は薬品管理簿により保管及び使用の状況が記録されていた。
- ⑧ 通級指導教室(発達障害)について
通常の学級に在籍する、比較的軽度の障害がある児童に対して、障害の状況に応じて特別な指導を行うための教室である。教科の学習は通常の学級で行う。自彊小学校の会議室を改造し、前年度より通級指導教室として開設したものである。個別に対象児童が保護者同席のもと、週 1 時間の通級指導を受けている。前年度の通級指導教室担当教員は 1 人であり、自彊小の教員業務との兼務であったが、平成 26 年度は通級指導教室担当専任となっており、体制強化が図られている。

監査の結果、次の指摘事項を除き財務に関する事務及び経営に係る事業の管理について、おおむね適正に執行されている。

【指摘事項】

備品管理について

学校備品管理規程(昭和 38 年 8 月 16 日教委規程第 3 号)第 16 条に規定する必要簿冊と異なる簿冊を用いている事例がみられた。従って学校備品管理規程に基づいて適正に備品管理が行なわれていたとは認め難い。今後については規程に基づく必要簿冊を用い、規程との整合性を図るべきである。

(3) 中央小学校 【指摘あり】

- ① 平成 26 年度 学校経営等の計画について

ア 学校経営

(ア) 学校経営構想図

(イ) グランドデザイン

イ 学校保健統計

ウ 安全教育

エ 地域社会との連携

なお、グランドデザインとは学校経営構想：その年度の学校における教育が目指す姿を端的に示したもので別紙のとおりである。

② 職員数は56人(うち、育休3人)である。

③ 学級数・児童数は次のとおりである。

学年	学級数	児童数		
		男	女	合計
1	4	60	66	126
2	5	87	72	159
3	4	59	54	113
4	4	70	64	134
5	4	68	63	131
6	4	71	53	124
支援	2	5	3	8
合計	27	420	375	795

④ 予算執行状況(歳出)については、次のとおりである。

ア 中央小学校維持管理費(ただし、施設整備は除く)

執行額は10,720千円で執行率は41.4%である。主なものは臨時職員賃金1,033千円、特定消耗品費1,403千円、教育材料費415千円、修繕料861千円、電気使用料2,175千円、水道使用料563千円、パソコン等保守点検・手数料430千円、備品購入費1,964千円である。

イ 中央小学校特別支援学級費(ただし、就学奨励費は除く)

執行額は33千円で執行率は52.7%である。

⑤ 学校備品管理規程に則って備品管理が行なわれているかについて、簿冊の確認及び新規購入備品の実査を行なった。

⑥ 理科準備室における薬品(毒物・劇物)の管理について実地調査を行なった。薬品(毒物・劇物)は、理科準備室にある薬品庫に保管され、理科準備室及び薬品庫は施錠されていた。鍵は担当責任者が保管していた。薬品(毒物・劇物)が保管されていることが扉に明瞭に記されてい

た。また、薬品使用記録簿により保管及び使用の状況が記録されていた。

⑦ 保健室における薬品管理について実地調査を行なった。

薬品は薬品管理簿により保管及び使用の状況が記録されていた。

監査の結果、次の指摘事項を除き、財務に関する事務及び経営に係る事業の管理について、おおむね適正に執行されている。

【指摘事項】

備品管理について

学校備品管理規程（昭和 38 年 8 月 16 日教委規程第 3 号）第 16 条に規定する必要簿冊と異なる簿冊を用いている事例がみられた。従って学校備品管理規程に基づいて適正に備品管理が行なわれていたとは認め難い。今後については規程に基づく必要簿冊を用い、規程との整合性を図るべきである。

(4) 住吉小学校 **【指摘あり】**

① 平成 26 年度 学校経営等の計画について

ア 学校経営

(ア) 学校経営構想

(イ) グランドデザイン

イ 研修・授業づくり

ウ 生徒指導・心づくり

エ 特別活動・活動づくり

オ 学びづくり

カ 月別年間教育計画

キ 学校安全指導

(ア) 安全指導

(イ) 安全管理

(ウ) 非常災害計画

ク 地域との連携

ケ 学校保健統計

なお、グランドデザインとは学校経営構想：その年度の学校における教育が目指す姿を端的に示したもので別紙のとおりである。

② 職員数は 42 人(うち、育休 1 人)である。

- ③ 学級数・児童数は次のとおりである。

学年	学級数	児童数		
		男	女	合計
1	3	49	35	84
2	3	55	42	97
3	3	36	48	84
4	3	44	45	89
5	3	56	46	102
6	4	54	64	118
支援	3	13	4	17
合計	22	307	284	591

- ④ 予算執行状況（歳出）については、次のとおりである。（ただし、施設整備は除く）

ア 住吉小学校維持管理費

執行額は 9,302 千円で執行率は 39.0% である。主なものは臨時職員賃金 1,381 千円、特定消耗品費 919 千円、教育材料費 361 千円、修繕料 585 千円、電気使用料 1,812 千円、水道使用料 391 千円、パソコン等保守点検・手数料 430 千円、備品購入費 1,748 千円である。

イ 住吉小学校特別支援学級費（ただし、就学奨励費は除く）

執行額は 32 千円で執行率は 43.3% である。

- ⑤ 学校備品管理規程に則って備品管理が行なわれているかについて、簿冊の確認及び新規購入備品の実査を行なった。
- ⑥ 理科準備室における薬品（毒物・劇物）の管理について実地調査を行なった。薬品（毒物・劇物）は、理科準備室にある薬品庫に保管され、理科準備室及び薬品庫は施錠されていた。鍵は担当責任者が保管していた。薬品（毒物・劇物）が保管されていることが扉に明瞭に記されていた。また、薬品使用管理簿及び薬品管理簿により保管及び使用の状況が記録されていた。
- ⑦ 保健室における薬品管理について実地調査を行なった。
薬品は薬品管理簿により保管及び使用の状況が記録されていた。

監査の結果、次の指摘事項を除き、財務に関する事務及び経営に係る事業の管理について、おおむね適正に執行されている。

【指摘事項】

備品管理について

学校備品管理規程（昭和 38 年 8 月 16 日教委規程第 3 号）第 16 条に規定する必要簿冊と異なる簿冊を用いている事例がみられた。従って学校備品管理規程に基づいて適正に備品管理が行なわれていたとは認め難い。今後については規程に基づく必要簿冊を用い、規程との整合性を図るべきである。

3 意見（地方自治法第 199 条第 10 項）

(1) 備品管理について

各学校では、学校備品管理規程（昭和 38 年 8 月 16 日教委規程第 3 号）第 16 条に規定する必要簿冊と異なる簿冊を用いている事例がみられた。所管部署である教育委員会事務局においては、学校備品管理規程の改定を含めて検討し、全校統一化された適正な備品管理が行なわれるよう、全校に対する指導・監督に努められたい。

(2) 薬品管理について

各学校における理科準備室の薬品（毒物・劇物）及び保健室の薬品管理について現在、管理規程がない状態で行なわれていること、また、理科準備室の薬品（毒物・劇物）による重大な事故が発生してからでは遅いということを強く意識し、児童・生徒の安全を第一に考え、所管部署である教育委員会事務局においては、薬品管理規程制定を含めて検討し、全校統一化された適正な薬品管理が行なわれるよう、全校に対する指導・監督に努められたい。

平成26年度 吉田中学校グランドデザイン

＜静岡県教育振興基本計画＞
「有為の人」
 つくりもののつくり

- 1 自らの資質・能力を伸張し、個人として自立した人
- 2 多様な価値観を認め、人との関わり合いを大切にしている人
- 3 社会の一員として、よりよい社会づくりに参画し、行動する人

学校教育目標
活力あふれる吉中生
 重点目標
「未来へ 磨き、高め合う」
 <2年次>

吉田町の教育目標

- 1 ところざしをもち、「生きる力」をはぐくむ学校教育を推進する。
- 2 家庭や地域と連携・協働して子どもをはぐくむ学校教育を推進する。
- 3 一人一人の個性を伸ばすための教育環境を充実する。

本校の教育課題

- 「学ぶ喜び」を実感させる
- 「確かな学力」の育成
- 「思いやりの心」を育てる
- 「たくましさ」を育てる

＜学校経営目標＞

- 1 生徒が学ぶ喜びを実感する授業づくりを推進する
- 2 生徒の発想を生かした活動を推進する
- 3 創意工夫を凝らした分掌運営を推進する

＜数値目標＞ ※ 7. 11. 2月に学校評価アンケートにより検証

① 学校が楽しい 85% → 87% ② 授業がわかる 81.4% → 83%

③ 信頼できる先生がいる 61.5% → 68% ④ 教師の運営満足度 66.0% → 70%

⑤ 保護者が学校の教育活動を理解している 74% → 80%

本校生徒の実態

- 元気で明るい挨拶を自慢している
- 合唱を自慢している
- まじめに学習に取り組める
- 学校が好きで明るい
- 規範意識が弱い（自己肯定感が低い）
- 受け身的な学習が目立ち、学力定着への意欲が乏しい
- 人のため、みんなのために動く意識が弱い



吉田自慢（地域防災）



吉田自慢（挨拶）

信頼にこたえる学校

＜目指す教師像＞

- ・ 情熱を傾けられる
- ・ 生徒の良さを見つめられる
- ・ 生徒にかかわれる
- ・ 生徒、保護者、地域の信頼に応える

＜目指す生徒像＞

- ・ 自ら進んで学ぶ
- ・ 自分や他人を大切にできる
- ・ 人のために動く
- ・ めあてに向かってやりぬく

＜目指す学校像＞

活力に満ち、「勢い」のある学校



吉田自慢（合唱）

校内研修テーマ **学びの充実**

意欲を引きだす授業の工夫 ～ 吉中授業スタイルの確立 ～



学校経営の重点1～5

1 授業で学ぶ喜びを実感させる

- 校内研修を基盤に「学ぶ喜びを実感させる」授業づくり
- 生徒が「聴きたい」「考えたい」「発信したい」を実感する授業づくり
- 毎時間の授業でねらいと振り返りを徹底

2 生徒の発想を大切に

- 生徒会活動や学年生徒会活動を活性化させ、生徒の発想を学校運営に反映させる。
- 教師は、生徒の言葉にしっかり耳を傾け生徒の思いを柔軟に受け止める。
- 「気づき」→「考え」→「解決・実践」のサイクルで生徒の教育活動を支える。

【基盤になるもの】

- 1 吉田中、吉中生の一人ひとりの成長を願い、情熱をもって進む教師集団。
- 2 自己課題を明確にし、常に新しい視野に立つて挑戦し続ける教職員。
- 3 小中連携、キャリア教育を視野に入れた指導ができる教師。
- 4 「自分の命は自分で守る」をベースにした防災・防犯等安全教育を推進する。
- 5 学校・学年・学級だより、HP等により、教育活動を保護者や地域に広く発信。

3 「思いやりの心」を育てる

- JRC活動を中心に人のために動く生徒の育成を目指す。
- 吉中未来プロジェクト「履きさいつぱいプロジェクト」の実践。

4 「たくましさ」を育てる

- 授業を通して「最後まで諦めないで頑張る」「粘り強く考える」等逞しさを育てる。
- 生徒一人一人が夢を語り、その夢に向かい努力する姿を後押しする。
- 部活動を通して自己目標に挑戦させる。

5 「自己肯定感」を育てる

- 学びのポートフォリオ（吉中未来プロジェクト）を通して生徒一人一人の努力の足跡を認め励ます。
- 生徒一人一人と寄り添い「答える」「認める」等ポジティブフォーカスによる指導を大切にする。
- 吉中生の自慢「あいさつ」「合唱」「地域とのつながり」を磨く。



学校教育目標 : 自らつとめ はげむ子

【歴史と伝統】
 伝統… 明治 43 年開校、104 年目。地域住民が子弟教育への願望と期待を込め、中国易经、戊申詔書から「自強」という特色ある校名をつけた。
 校訓… 自強「自らつとめはげむ子」とは、自分の目標をもち、その実現のために自らの英知を傾けて考え、正しく判断して実践し、粘り強くやり遂げるという意味である。
 立地… 東名吉田 IC につながる道路整備等により交通の便が年々良くなる反面、児童の交通事故が懸念される。また、児童数が微増傾向である。保護者、地域の学校に寄せる期待、支援の気持ちが高い。

【国・県・町の施策】
 国 (学習指導要領)
 ・生きる力を育む。
 ・基礎的基本的な知識、技能の習得。
 ・課題を解決するための思考力、判断力、表現力。
 ・主体的に学習に取り組む。個性を生かす。
 ・言語活動の充実、学習習慣。
 県 (静岡県教育振興基本計画)
 ・「有徳の人」の育成。
 町
 ・こころざしをもち「生きる力」を育む。
 ・家庭や地域と連携、協働して子どもを育む。

重点目標 : すすんで学ぶ子・自分を伸ばす子

学校は『授業が大事』であることから目指す授業像を明確にし、授業を通してひとりひとりの力をつけていきたい。個の力が育っていなければ、学び合うことも話し合うこともできない。個の力が育ってくるから学び合いになる。個の力が育てば、自分で行動することが増えてくるだろう。そこでの成功体験が達成感となり、その積み重ねが自信をうみ、自己肯定感も高まるだろう。また、自ら学ぼうと思えば子どもたちは自然と周りに関わるようになるだろう。その姿が、「自主性」「主体性」「自ら考える」「自ら行動する」姿であると考える。

『すすんで学ぶ子』…やる気 (主体性) 『自分を伸ばす子』…力をつける

<p>決意・仲間づくり(4/7~6/29) この一年の新たな目標や決意・希望をもつ。また、仲間のよさを見つけ共にがんばろうとする。</p>	<p>挑戦(6/30~10/13) めあてに向かって決めたことを弱音を吐かずにつけて取り組む。</p>	<p>追究(10/14~1/4) 一人一人が力を発揮し、とことん物事に取り組み、よりよいものを求めたり高めあったりする。</p>	<p>感謝(1/5~3/31) これまでを振り返り、自分を支えてくれた全ての人・もの・ことに感謝すると共に新たな目標をもつ。</p>
---	---	--	--

<p>【心づくり部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 自己有用感の高い子 ◎ 規範意識の高い子 <p>◇生徒指導が機能する授業 ・生徒指導の3機能を生かした子どもたちが活躍できる授業づくり。</p> <p>◇人間関係づくり ・人間関係づくりプログラムの活用</p> <p>◇日々の生活指導 ・「すてきな自強っ子」の徹底 ・「ほめる」「認める」「励ます」等、肯定的な評価</p> <p>◇家庭・地域との連携 ・家庭訪問、保護者面談、教育相談の活用 ・学校参観 (自由参観) の実施</p>	<p>【学びづくり部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ わかるまで追究する子 <p>◇教師の指導力向上 ・大研による授業実践と検証</p> <p>◇学力向上 ・学力学習状況調査、町一斉テスト、定着度調査の活用 ・自強チャレンジテスト ・放課後学習指導 ・家庭と連携した家庭学習 ・ラーニングプランの実践</p> <p>◇学習態度の定着 ・すてきな自強っ子～学習編～の徹底</p>	<p>【体づくり部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 友だちと協力してよりよい集団を創ろうとする子 ◎ 自分の考えをもち、自ら進んで活動する子 <p>◇児童会活動・クラブ活動 ・委員会 ・一迎会 ・六送会 ・ペア活動 ・委員会集会 ・クラブ発表会</p> <p>◇学校行事 ・遠足 ・田植え、稲刈り ・里人こぞる ・ふれあい音楽会 ・宿泊訓練 ・修学旅行</p> <p>◇学級活動 ・話し合い活動の充実</p> <p>◇体力づくり ・びゅんびゅんタイム ・チャレンジ55 ・朝マラソン</p>
---	---	---

【今後、つけていきたい力】

- ・ 自分たちで判断して行動する力
- ・ 自分たちの課題を自分たちで解決する力
- ・ 自分たちが授業を創るという意識
- ・ 自分で、めあてをたてる。そしてそれをやり遂げる力 (粘り強さ・困難にぶつかったときの強さ)

◎自主性 ◎主体性 ◎自ら考える・行動する

<p>【平成 25 年度についてきた力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 規範意識が高まってきた。 ・ 黙読清掃ができるようになってきた。 ・ あいさつが意識化されてきた。 ・ 朝マラソンをがんばる子が増えてきた。 ・ 学習の基礎基本が身についてきた。 ・ 家庭学習の仕方がわかってきた。 ・ 小さい子に優しい。 	<p>【保護者・地域のねがい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おもいやりのある子に育ってほしい。(176) ・ きまりやルールを守る子になってほしい。(103) ・ 友だちと仲良く過ごす子になってほしい。(91) ・ 明るく元気な子になってほしい。(85) ・ たくましい心と体をもった子になってほしい。(82) ・ めあてをもって物事に粘り強く取り組む子になってほしい。(76) ・ 節度を守って行動し礼儀正しい子になってほしい。(71)
---	--

【自強小の子どもがもともと持っているよさ】

◎まじめ ◎素直 ◎明るい ◎人なつこい ◎言われたことはきちんとやる ◎やる気になればどどんががんばる



教育目標:たくましい子

重点目標:自分をみがき高め合う子

学校経営理念

学校は、第一義的に「勉強するところである」。
しかも「集団で学び合うところ」である。

学校経営目標

- 付けた力を確実に身に付けるための授業づくり
- 個の伸長を図るまごころ活動と主体的な活動の充実
- 中央小ならではの特色ある教育活動の推進・充実

学びの充実

学びづくり部

- 基礎基本の定着 授業の充実
- 定着タイム ○学習指導案からの働きかけ
 - 定着テスト ○国語を窓口 to 研修
 - 放課後支援学習 ・外部講師の招聘
 - 家庭学習
 - 全国学力到達状況調査分析と取組の検討
 - 2回の吉田町学力調査の実施、分析と取組の検討
- ・授業がわかる 95%
 - ・はっきり話す 90%
 - ・家庭学習を確実にを行う 100%
 - ・定着テスト80点以上 100%
 - ・しっかり話す 90%

まごころ育て部

- まごころ3活動の推進
 - まごころアンケートの結果・分析・対策
 - ステージカードの推進
- ・自分にはよいところがある 90%
 - ・まごころ3活動への取組 (あいさつ90%、そうじ90%、歩き90%)
 - ・目標に向かって粘り強く取り組む 90%

四部の連携

学力向上

まごころ磨き

学校力の強化

学校組織の活性化

第1S やる気ステージ
よりよい仲間づくりの基礎をつくる
目標達成に向けた意欲をもつ

第5S ありがとうステージ
人・もの・ことへの感謝の気持ちをもつ
新たな目標を設定する

第2S チャレンジステージ
主体的により良い自分に向かって
追究していく

第4S みのりステージ
存分に力を発揮する
さらなる高見を目指す

第3S 力をのばすステージ
他とかかわり合うことでさらによさを
伸ばす

まごころ
笑顔
信頼

各ステージを充実させつなぐ

絆づくり部

- 児童会行事、つどいの充実
 - 学級活動
 - ペア活動 ○委員会活動
- ・友達といっしょに学習したり活動したりすることが楽しい。 100%

絆紡ぎ

ステージ集会
ステージカード

- 評価方法
- 学校評価アンケート (教職員・児童・保護者)
 - まごころアンケート
 - ステージカード振り返り
 - 定着度テスト
 - 学校評議員 等

体づくり部

- 朝マラソン
 - 持久走記録会
 - 長縄記録会
- ・体力向上に向けた主体的取組 90%
 - ・不登校ゼロ

からだ鍛え

安心・安全・安定のある学校

開かれた学校

家庭・地域との連携

平成26年度 住吉小学校グランドデザイン



教育の基本理念

人を大切にすること

学校教育目標

豊かな心 学ぶ力

学校経営目標

- 学習・生活の基礎基本の定着
- 活動に進んで取り組み、やりとげる子どもの育成
- 安心安全を基盤とし、家庭・地域等との連携を重視した開かれた学校

重点目標

やりぬく子

〒 421-0301

静岡県榛原郡吉田町住吉 2223 番地

吉田町立住吉小学校

電話 (0548) 32-1476

FAX (0548) 32-0244

sumisho@ck.tnc.ne.jp

具現化 のため の視点	自立・共生	豊かな学び	表現力 人間関係力	自己指導力	体力向上
	じまん・気づき・ふがきあい 道徳授業公開 特別支援教育 学習環境	吉田町ラーニングプラン 学びの継続 朝読書 チャレンジテスト	つけたいかにシンプルに 迫る授業 運動 勇気・自信・相互理解	学びを生かす すみよし学習 行事・委員会活動	早朝ランニング 自己記録の更新 欠席0を目指す

4推進部

心づくり部

学びづくり部

授業づくり部

活動づくり部

P・D・C・A サイクルで活動の質の向上

第1ステージ
4-5月やる気

第2ステージ
6-7月 チャレンジ

第3ステージ
9-10月 協力

第4ステージ
11-12月 高め合い

第5ステージ
1-2-3月 振り返り

スタート

基盤と文機

誇りの育成

安心安全な学校

家庭・地域との連携

魅力ある教師

学校を活性化するキーワード

- 「みぎよし ひだりよし 住吉」
- 「あいさつよし そうじよし 授業よし これぞ住吉」
- 「走ってよし 跳んでよし 投げてよし マナーよし これぞ住吉」
- 「だ(だまって) い(一生懸命) じ(時間いっぱい) を守って 陽よし」
- 「黄色でも ぼくの気もちは 赤しんごう」(住吉小児童作品)

定期監査

1 監査の概要

(1) 監査の対象

- ア 高齢者支援課
- イ 会計課
- ウ 町民課
- エ 議会事務局

(2) 監査の事項及び範囲

平成 26 年 4 月 1 日から平成 26 年 9 月 30 日までに執行された事務事業

(3) 監査の期間及び説明聴取場所

平成 26 年 11 月 11 日から平成 26 年 12 月 19 日

<説明聴取年月日等>

説明聴取年月日	監査の対象	説明聴取場所
平成 26 年 11 月 20 日	高齢者支援課	本庁 4-3 会議室
同 上	会 計 課	同 上
同 上	町 民 課	同 上
同 上	議会事務局	同 上

(4) 実施した監査手続き

監査にあたっては、財務に関する事務及び経営に係る事業の管理が法令に基づいて適正、かつ、効率的に執行されているかに主眼をおき、あらかじめ指定した監査資料及び揭示のあった関係書類及び関係帳簿を審査するとともに、所属長及び関係職員から説明を聴取するほか、質問その他必要と認めた監査を実施した。

2 監査の結果

各課(局)についての監査結果は、後述のとおりである。

なお、軽微な事項についてはそれぞれ、口頭で注意・指導を行った。

(注) 1 文中の金額のうち、千円単位で表示されているものは、単位未満は四捨五入とした。従って、合計金額が一致しない場合がある。

2 比率(%)は、原則として小数点以下第 2 位を四捨五入し、第 1 位までとした。

(1) 高齢者支援課 【指摘なし】

① 課内組織

高齢者福祉部門、介護保険部門の 2 部門で構成されており、所管とし

て、健康福祉センター、老人福祉センターがある。

② 職員人数等は次のとおりである。

管理職(課長)1人、一般職員7人、臨時職員1人の合計9人である。

③ 事務事業の執行状況(歳出)については次のとおりである。(ただし、職員人件費は除く)

◎ 一般会計

ア 社会福祉総務費

執行額は600千円で、執行率は21.3%である。全額、福祉介護手当である。

イ 老人福祉費

執行額は74,524千円で、執行率は32.8%である。

(ア) 老人福祉対策費577千円で執行率は34.3%である。

(イ) 敬老事業費2,567千円で執行率は66.8%である。

(ウ) 社会福祉施設管理事業費30,361千円で、執行率は42.3%である。主なものは、健康福祉センター指定管理委託料10,539千円、北区いきいきセンター指定管理委託料1,927千円、健康福祉センター総合設備委託料5,832千円、相寿園管理組合負担金11,639千円である。

(エ) 老人保護措置費2,881千円で、執行率は40.4%である。

(オ) 高齢者社会参加推進事業37,719千円で、執行率は27.4%である。主なものは、高齢者人材活用センター建設費30,800千円、町老人クラブ活動補助金2,339千円、シルバー人材センター運営費補助金4,550千円である。

(カ) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業費90千円で、執行率は2.9%である。

(キ) 高齢者見守り体制整備事業費43千円で、執行率は5.2%である。

(ク) ひとり暮らし高齢者等対策事業費285千円で、執行率は26.9%である。

ウ 介護保険費

執行額は10,000千円で、執行率は3.7%である。全額、介護保険事業会計繰出金である。

◎ 介護保険特別会計

執行額は698,044千円で、執行率は36.0%である。

ア 総務費

執行額は 24,194 千円で、執行率は 58.0%である。

(ア) 一般管理費

執行額は 2,790 千円で、執行率は 22.6%である。主なものは、介護保険制度運営事業費 1,914 千円である。

(イ) 賦課徴収費

執行額は 525 千円で、執行率は 40.4%である。

(ウ) 介護認定審査会費

執行額は 20,851 千円で、執行率は 75.0%である。全額、榛原病院介護認定審査事務運営負担金である。

(エ) 趣旨普及費

執行額は 27 千円で、執行率は 80.4%である。

イ 保険給付費

執行額は 653,049 千円で、執行率は 36.3%である。

(ア) 介護給付費

a 介護サービス等諸費

執行額は 617,409 千円で、執行率は 36.0%である。主なものは居宅介護サービス給付費 291,501 千円、地域密着型介護サービス給付費 33,397 千円、施設介護サービス給付費 227,410 千円、居宅介護サービス計画給付費 31,448 千円、居宅支援サービス給付費 26,265 千円、居宅介護住宅改修費 2,343 千円、居宅支援サービス計画給付費 3,063 千円である。

b 高額介護サービス等諸費

執行額は 10,100 千円で、執行率は 50.0%である。主なものは高額介護サービス給付費 8,466 千円、高額医療合算介護サービス給付費 1,614 千円である。

c その他諸費

執行額は 472 千円で、執行率は 40.7%である。

d 特定入所者介護サービス等費

執行額は 25,067 千円で、執行率は 40.4%である。

ウ 地域支援事業費

執行額は 19,340 千円で、執行率は 35.7%である。

(ア) 二次予防事業費

執行額は 1,649 千円で、執行率は 13.2%である。主なものは運動器の機能向上事業 1,058 千円である。

(イ) 一次予防事業費

執行額は 4,818 千円で、執行率は 35.3% である。主なものは運動器の機能向上事業 3,144 千円、認知症予防事業 1,509 千円である。

(ウ) 包括的支援事業費

執行額は 11,567 千円で、執行率は 49.5% である。主なものは包括支援センター運営事業 11,481 千円である。

(エ) 任意事業費

執行額は 1,305 千円で、執行率は 27.8% である。主なものは配食サービス事業 417 千円、家族介護支援事業 348 千円である。

エ 諸支出金

執行額は 1,462 千円で、執行率は 29.0% である。

(ア) 償還金

執行額は 1,417 千円で、執行率は 28.8% である。全額、県補助金等返還金である。

- ④ 時間外勤務については 1 人当たり 11.71 時間である。(庁内平均 15.58 時間)

監査の結果、財務に関する事務についてはおおむね適正に執行されており、経営に係る事業の管理についてもおおむね適正に執行されている。

(2) 会計課 【指摘なし】

- ① 職員人数等は次のとおりである。

管理職(課長)1人、一般職員3人(うち、産休1人)の合計4人である。

- ② 事務事業の執行状況(歳出)については次のとおりである。(ただし、職員人件費は除く)

ア 会計管理費

(ア) 出納管理事務費

執行額は 748 千円で執行率は 35.5% である。主なものは印刷製本費 340 千円、特定消耗品費 305 千円である。

- ③ 時間外勤務については 1 人当たり 34.44 時間と庁内で一番多かった。(庁内平均 15.58 時間)

監査の結果、財務に関する事務についてはおおむね適正に執行されており、経営に係る事業の管理についてもおおむね適正に執行されている。

(3) 町民課 【指摘なし】

① 課内組織

住民窓口部門、国保部門、環境保全部門の3部門で構成されている。

② 職員人数等は次のとおりである。

管理職(課長)1人、一般職員14人、臨時職員11人の合計26人である。その他、行政サポーター2人がいる。

③ 事務事業の執行状況(歳出)については次のとおりである。(ただし、職員人費は除く)

◎ 一般会計

ア 戸籍住民基本台帳費

(ア) 戸籍住民基本台帳事務費

執行額は10,118千円で、執行率は28.8%である。主なものは臨時職員賃金(3人)2,534千円、住民ネットワークシステム委託料1,323千円、戸籍電算事務委託料2,735千円、総合証明自動交付機借上料2,976千円である。

イ 保健衛生総務費

(ア) 吉田町牧之原市広域施設組合負担金(火葬場費)

執行額は4,937千円で、執行率は36.7%である。

ウ 環境衛生費

執行額は171,762千円で、執行率は34.3%である。

(ア) 環境衛生推進事業費

執行額は966千円で、執行率は42.7%である。

(イ) 環境保全費

執行額は4,392千円で、執行率は40.5%である。主なものは臨時職員賃金(5人)3,394千円である。

(ウ) 吉田町牧之原市広域施設組合負担金(し尿処理費)

執行額は28,298千円で、執行率は31.4%である。

(エ) 吉田町牧之原市広域施設組合負担金(ごみ処理費)

執行額は137,748千円で、執行率は34.9%である。

エ 老人保健事業費

執行額は155,480千円で、執行率は64.9%である。

(ア) 後期高齢者医療事業事務費

執行額は155,359千円で、執行率は64.9%である。主なものは療養給付費負担金147,901千円、後期高齢者医療広域連合負担金5,519

千円である。

◎ 国民健康保険事業特別会計

執行額は 1,232,012 千円で、執行率は 40.8%である。

ア 総務費

執行額は 5,958 千円で、執行率は 35.4%である。

(ア) 一般管理費

執行額は 3,488 千円で、執行率は 28.7%である。主なものは臨時職員賃金(2人)493千円、電算処理委託料 2,412 千円である。

(イ) 賦課徴収費

執行額は 1,654 千円で、執行率は 50.5%である。

(ウ) 国保連合会負担金

執行額は 724 千円で、執行率は 66.6%である。

(エ) 運営協議会費

執行額は 92 千円で、執行率は 29.4%である。

イ 保険給付費

執行額は 841,888 千円で、執行率は 43.8%である。

(ア) 一般被保険者療養給付費

執行額は 656,410 千円で、執行率は 43.2%である。

(イ) 退職被保険者等療養給付費

執行額は 61,176 千円で、執行率は 37.5%である。

(ウ) 一般被保険者療養費

執行額は 6,758 千円で、執行率は 46.9%である。

(エ) 審査支払手数料

執行額は 1,938 千円で、執行率は 47.7%である。

(オ) 一般被保険者高額療養費

執行額は 96,767 千円で、執行率は 53.7%である。

(カ) 退職被保険者等高額療養費

執行額は 10,556 千円で、執行率は 56.8%である。

(キ) 出産育児一時金

執行額は 7,140 千円で、執行率は 43.6%である。

(ク) その他保険給付費

執行額は 1,143 千円で、執行率は 29.3%である。主なものは、退職被保険者療養費 669 千円、葬祭諸費 450 千円である。

ウ 後期高齢者支援金等

執行額は 161,328 千円で、執行率は 41.7%である。

エ 前期高齢者納付金等

執行額は 134 千円で、執行率は 43.5%である。

オ 老人保健拠出金

執行額は 14 千円で、執行率は 91.3%である。

カ 介護納付金

執行額は 74,323 千円で、執行率は 41.3%である。

キ 共同事業拠出金

執行額は 134,870 千円で、執行率は 41.1%である。

(ア) 高額医療費拠出金

執行額は 24,160 千円で、執行率は 40.7%である。

(イ) 保険財政共同安定化事業拠出金

執行額は 110,710 千円で、執行率は 41.2%である。

ク 保健事業費

執行額は 4,957 千円で、執行率は 16.5%である。内訳は特定健康
診査等事業費 1,744 千円、保健事業活動費 3,213 千円である。

ケ 諸支出金

執行額は 8,539 千円で、執行率は 24.2%である。主なものは、一般
被保険者保険税還付金 1,257 千円、償還金 7,240 千円である。

◎ 後期高齢者医療事業特別会計

執行額は 42,336 千円で、執行率は 19.6%である。主なものは後期高齢
者医療広域連合納付金 42,072 千円である。

④ 時間外勤務については 1 人当たり 9.14 時間である。(庁内平均 15.58
時間)

監査の結果、財務に関する事務についてはおおむね執行されており、経
営に係る事業の管理についてもおおむね適正に執行されている。

(4) 議会事務局 【指摘なし】

① 職員人数等は次のとおりである。

管理職(局長)1 人、一般職員 2 人の合計 3 人である。

② 事務事業の執行状況(歳出)については次のとおりである。(ただし、
職員人件費は除く)

ア 議会費

執行額は 39,912 千円で執行率は 52.1%である。

(ア) 議会運営費

執行額は 38,121 千円で執行率は 52.9%である。主なものは議員報酬 18,416 千円、議員期末手当（6 月期）5,155 千円、議員共済費 14,033 千円である。

(イ) 議会調査活動費

執行額は 1,791 千円で、執行率は 39.2%である。主なものは議会だより印刷費 1,024 千円である。

イ 監査委員費

執行額は 207 千円で、執行率は 18.8%である。主なものは監査委員報酬（4 月～6 月分）188 千円である。

- ③ 時間外勤務については 1 人当たり 12.85 時間であった。（庁内平均 15.58 時間）

監査の結果、財務に関する事務についてはおおむね執行されており、経営に係る事業の管理についてもおおむね適正に執行されている。